

報道関係 各位

【発行のご案内】**明日の国際保健医療協力 magazine****最新号 『NEWSLETTER』 vol.20/2024****特集 -グローバルヘルスを人財から考える-
グローバルヘルスのルールづくりに貢献する
「規範セッター」**

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、“明日の国際保健医療協力 magazine”の最新号として『NEWSLETTER』 vol.20/2024 を発行しました。



『NEWSLETTER』は、グローバルヘルス、国際保健医療協力の潮流やキーワード、国際医療協力局の活動のご紹介を通じて、グローバルヘルスと国際保健医療協力の実際についてご理解をいただく広報誌です。2010 年の創刊以来、今回で通算第 37 号の発行となります。



最新号の特集は「規範セッター」です。

国際医療協力局には「規範セッター」と言われる「高度な専門性を持ち国際的組織技術諮問委員などに参加し、国際的規範・基準づくりに携わる委員」※ が 2023 年 12 月現在、7 名在籍しています。「規範セッター」は、専門的な知見を活かして世界の健康課題の解決に貢献するとともに、国の保健医療外交や政策形成にも関わる重要な役割を果たしています。

日本では、「規範セッター」など、グローバルヘルスを担う人材を養成し、世界に送り出す取り組みも行っています。「国際規範をつくる場」に日本人をおくり、国際的影響力を強めていくことは、保健医療外交上もきわめて重要なことです。

※厚生労働省 国際保健に関する懇談会 国際保健政策人材養成ワーキンググループ報告書より

『NEWSLETTER』 VOL.20/2024 の概要は、以下の通りです。

『NEWSLETTER』 vol.20/2024

特集 -グローバルヘルスを人財から考える- グローバルヘルスのルールづくりに貢献する 「規範セッター」

仕 様 : A5 サイズ、24 ページ、カラー印刷

発 行 日 : 2024 年 3 月 25 日

発 行 者 : NCGM 国立国際医療研究センター 国際医療協力局

内 容 : ◎国際医療協力局の「戦略と重点テーマ」を紹介します
◎特集 -グローバルヘルスを人財から考える-
グローバルヘルスのルールづくりに貢献する「規範セッター」
・グローバルヘルスのルールづくりに取り組む専門家
「規範セッター」ってなんだろう？
・NCGM 国際医療協力局の国際保健医療協力などの知見を世界に生かす
7 人の「規範セッター」ってどんな人？
・「規範セッター」など、より多くの国際保健人材を世界へ
・Special Interview
グローバルヘルスをリードする国際保健政策人材「規範セッター」を世界へ
グローバルヘルス人材戦略センター長 中谷 比呂樹
◎国際保健医療協力の専門家のキャリアパス グローバルヘルスへの道
NCGM 国際医療協力局/グローバルヘルス詮索研究センター併任
上級研究員 大川 純代
◎日本が生みの親？感染症から世界を守る グローバルファンド ※

※正式名称：世界エイズ・結核・マラリア対策基金 Global Fund [GF]



《ご参考》 『NEWS LETTER』 発行リスト

	発行号	特 集
1	2024年vol.20（最新号）	「グローバルヘルスを人財から考える」 グローバルヘルスのルールづくりに貢献する「規範セッター」
2	2023年vol.19	医療製品のアクセス&デリバリー 必要なモノを必要なヒトへ
3	2023年vol.18	子宮頸がんのない未来を作る
4	2022年vol.17	グローバルヘルスと「移民の健康」
5	2022年vol.16	ポストコロナへ - 国際保健医療協力の新たな取り組み
6	2021年vol.15	日本の中のグローバルヘルス
7	2021年vol.14	看護職とグローバルヘルス
8	2020年vol.13	新型コロナウイルスに挑む国際保健医療協力
9	2020年vol.12	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ 世界中のすべての人に健康を
10	2019年vol.11	グローバルヘルスと「医療の質」 SDGs時代の患者安全
11	2019年vol.10	保健医療が支えるTOKYO2020
12	2018年vol.9	アウトブレイクから人々を守る 感染症健康危機管理
13	2018年vol.8	誰ひとり取り残さない 持続可能な開発目標-SDGs-で社会を変える
14	2017年vol.7	コミュニティの力で健康をつくる 国際保健と地域保健の共通点
15	2017年vol.6	NCGMの何が国際なのか グローバルヘルスの岐路と新たなニーズ
16	2016年vol.5	医療の国際展開 途上国支援の新しいアプローチ
17	2016年vol.4	院内感染を防ぐ 途上国にもウイルスや細菌に負けない病院を
18	2015年vol.3	研究とフィールド調査 途上国を歩いて課題解決の鍵を探る
19	2015年vol.2	新しい命の 28 日間 途上国で挑戦する新生児ケア
20	2015年vol.1	国際機関 世界を助けるお金の活かし方
21	2014年秋号	ラオス 子どもの笑顔から始まる未来
22	2014年夏号	お母さんの声が聴きたい 安心して赤ちゃんが産める地域づくり
23	2014年春号	ジェンダーギャップ NEWSLETTER世界の片隅で女性を生きる
24	2014年冬号	病院から青空の下へ 地域とつなぐ HIV 治療
25	2013年秋号	看ることと育てることと 国際看護師
26	2013年夏号	5S整理・整頓で幸せになる！
27	2013年春号	国づくりは、人づくり～ 開発途上国の保健医療人材が育つために ～
28	2013年冬号	ワクチン 命を守るクスリ
29	2012年夏秋 合併号	MDGs 期限まで3年世界は変わったか？
30	2012年春号	東日本大震災 宮城県東松島市で復旧・復興支援を続けて
31	2012年冬号	創立25周年記念特別編集号 国際保健医療協力活動の軌跡と展望
32	2011年秋号	グローバル・ヘルス なぜ開発途上国の健康問題を考えるの？
33	2011年夏号	国際医療協力部における 東日本大震災の復旧・復興支援活動
34	2011年春号	保健システム強化のための人材開発
35	2011年冬号	母子保健分野の国際協力
36	2010年秋号	近くなったアフリカ 感染症対策について考える
37	2010年夏号（創刊号）	僕たちとどこか似ている国 ベトナムへの保健医療協力

※『NEWS LETTER』のバックナンバーは、国際医療協力局ウェブサイト（以下 URL）から全てダウンロードできます。

<http://kyokuhp.ncgm.go.jp/library/newsletter/index.html>



【NCGM 国際医療協力局について】

NCGM 国立国際医療研究センター国際医療協力局は、グローバルヘルス分野における専門機関として、厚生労働省、外務省、国際協力機構（JICA）等の政府・関係機関や、世界保健機関（WHO）をはじめとする国際機関、大学・研究機関・学会等のアカデミア、さらには NGO や企業等の幅広いパートナーと連携し、低・中所得国における技術協力プロジェクトへの専門家派遣、国内外の保健医療人材の育成のための講座や研修の提供、国際保健医療の研究、国際会議等を通じた政策提言など、低・中所得国の医療や保健衛生の向上を図るためさまざまな活動を行っています。

★本件に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

国際医療協力局 広報情報課

昆 弘人

〒162-8655

東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL : 03-3202-7181（代表）内線：2744

E-mail : koho@it.ncgm.go.jp

<https://kyokuhp.ncgm.go.jp/index.html>